

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月14日(19:00~20:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	園田、中嶋、松原、戸田、上田、菊地、新道、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	7人	1人	0人	10人

前回の改善計画

日々のミーティング実施時間として、15時のおやつ提供タイミングで5分程度行っていく。当日の確認事項や新規お客様の情報共有の他、現状の困難ケースへの対応方法確認等に活用して統一したケアに繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

ミーティング実施は定着しており、声を掛け合い行われている。情報共有や変化の把握などが、しっかりと行えるようになっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	6	3	0	10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができますか?	1	6	3	0	10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができますか?	2	7	0	0	9
③	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	3	1	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ミーティングを通じて情報共有や課題の把握が行われている。ご家族の要望などもこの場で共有され、その内容を踏まえたケア提供が行われている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

ミーティング実施は出来ているが、時間的に十分ではなく、情報量が限られている面がある。また、言語化されやすい家族の要望は把握できても、お客様本人のニーズをつかみ取ることがまだ出来ていない。そのため、個人の判断によるところが多く存在し、ケアの統一に繋がっていない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

初期支援時のミーティングではA.D.Lや利用形態の説明だけでなく、何を目的とした利用開始なのかを明確に伝えていく。そのためには現在のフェースシート様式では不十分なため、Word作成の曜日スケジュール記載のシートなどで目的記載欄を追加していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月14日(19:00~20:00)
2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	園田、中嶋、松原、戸田、上田、菊地、新道、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	前回の課題について取り組めましたか？	0人	4人	5人	0人	9人

前回の改善計画

ご本人の目標よりも家族の目標が中心になってしまっている。ご本人・家族双方が同席したうえで目標を聞き取っているケアマネジャーの情報を全員で共有するよう、仕組みと意識を強化し目標把握・実現に努めていく。「1」でも挙げた、15時のミーティングを活用する。

前回の改善計画に対する取組み結果

ご本人の目標に関して、自分で表明出来る方については理解し共有されている。ただ、それを受けた支援が充分ではなく、また家族からの意見をより強く意識した関りになってしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人數）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかつていますか？	0	3	6	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかつていますか？	0	4	5	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	3	7	0	10
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	3	7	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

ご本人との対話を通して、やりたい事を把握しようとする動きは定着している。また、ゴール設定のような遠い目標ではなく、身近な目標に対しての支援は行えている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

把握したご本人の目標に対する具体的支援に繋がっていない。共有が充分ではなく統一した対応になっていない面と、ご家族の目標が優先されがちになってしまっていることが主な要因。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

入居施設ではないため、日々の関わり・支援の中心は家族になる。独居の方を中心として、本人の言葉で希望を聞き取る取り組みを行い、介護保険サービスとして逸脱しない範囲で、実現できる支援を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月14日(19:00~20:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	園田、中嶋、松原、戸田、上田、菊地、新道、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1人	8人	0人	9人

前回の改善計画	サービスの見直しについては、内容が適切か、回数過多になっていないかといった視点で、適宜見直すことが出来るよう、会議やミーティングの場で検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	ミーティングや会議を通じ、サービス内容が適切かについての検討自体は行えている。回数や内容について、施設側の考えと家族の考えでは乖離しているケースも多く、適切な落としどころが見つからずに継続となってしまったり、限られた人員体制の中で充分な提供内容となっていない事がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人數)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	1	9	0	10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか?	0	10	0	0	10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか?	0	3	6	0	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	10	0	0	10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時に支援できますか?	0	6	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 体調に合わせてサービス内容を臨機応変に変更して対応出来ている。ご本人の目標については、把握された中で、対応がしやすいものについては随時対応出来ている。
--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 以前の暮らし方を意識して、そこから本人の表明されないニーズを把握する取り組みが出来ていない。そのため、家族の要望以外では、サービス内容の見直し改善への意識が充分とは言えない。
---------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 以前の暮らし方=本人の望む暮らしとの認識は持ちつつ、それが出来ないからこそその介護保険サービス利用であることを現実として理解してもらいながら、目標や要望を把握して一覧化できる書式を作成し職員で共有する。
---------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月14日(19:00~20:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	園田、中嶋、松原、戸田、上田、菊地、新道、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	7人	1人	9人

前回の改善計画

地域交流委員会の活動内容を今までの行事計画中心なものから、一人ひとりの生活に視点を合わせて、必要な資源の把握に広げていく。そこで得られた情報を基に、管理者やケアマネも加わり幅広い支援に繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域資源の把握についてはほとんど取り組めていない。地域交流委員会の業務の見直しも必要だが、委員会としての役割としてはやや重くなってしまうので、委員会所属職員の見直しや担当の変更も視野に検討が必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	4	4	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	2	6	0	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	1	8	0	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	0	9	0	9

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

レクリエーション活動を中心に地域との交流は何とか行えている。頻度を上げていきたいという希望は多い。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域資源を活かした支援への取り組みはほとんど出来ていない。それ以前の生活把握が充分でない事や、すべての支援をなごみだけで行おうとしている事が主な原因。自施設で出来る限界をしっかりと意識し、幅広くチームで支える意識変換が必要。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

買い物がすべて代行になっているが、元々利用していた顔なじみの店などがある方について、希望があればそこの利用支援を入れていく。ただし、同居家族や近隣居住の家族がいて車が使える方は対象外とするなど、一定の条件を設定する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月14日(19:00~20:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	園田、中嶋、松原、戸田、上田、菊地、新道、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	7人	2人	9人

前回の改善計画

地域包括支援センターを中心として地域の資源を活かし、事業所だけで支援を完結しない意識・体制を構築する。その過程では家族の介護参加が不充分な方への呼びかけも強化し、課題を共有できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域資源だけでなく、家族との協働意識も充分ではない。元々積極的な家族との協力は継続的に行えているが、そうでない家族を巻き込む意識がなく、出来る範囲で全てを自事業所で行っている状態となっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	1	6	2	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	0	5	5	0	10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	8	1	0	10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか?	0	8	2	0	10

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

その日の状態をみてサービス内容を変更するなど柔軟な対応は出来ている。ニーズに関しても短期的な視点では把握されており、その情報共有・サービス提供まで繋がっている。ご本人から言語化されやすい要望が多いため、把握が容易な点が要因として考えられる。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家族の巻き込みという点で、家族の顔が分からぬ方も何名かいる。充分な働きかけが出来ていない事の裏返しといえる。 地域資源を活用した支援は、介護職員としては開拓することは難しい面もあるので、管理者・ケアマネが中心となり繋がりを作り、職員と引き合わせるよう考えていかなくてはならない。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

個別支援の過程での地域資源活用も重要だが、どのようなニーズが生じるかの予測は難しく、また開拓も容易ではない。 支援の多様化と職員負担軽減の観点から、レクリエーションボランティアとの結びつきを新たに作り、午後の活動負担を減らしていく。社会福祉協議会との相談で紹介は受けやすく、地域交流委員会業務としても負担が少なく始められると考えられる。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月14日(19:00~20:00)
6. 連携・協働	メンバー	園田、中嶋、松原、戸田、上田、菊地、新道、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1人	4人	3人	8人

前回の改善計画	令和7年より、小規模多機能部会の勉強会で一般職も参加する取り組みが始まるので、なるべく多くの職員に出席してもらい、他施設との交流の場を設ける。そこで交流をもち他施設の取り組みを学ぶことで、取り入れられる内容を検討することに繋げていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	勉強会の開催時間が夕方の送迎などで職員が手薄になる時間となっているため、一般職員の参加は難しい状況となっている。ドライバー採用を通じて、夕方の人員に余裕を作り、職員参加に繋げていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	0	3	6	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	0	1	8	9
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	3	5	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	1	3	6	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議等の参加は管理者に限られるが、地域包括支援センター主催の研修会参加や地域でのオレンジカフェへの参加といった、外部活動参加の機会は持てた。情報を増やすことと、シフト調整を通じて参加機会を設けることと、意欲を高める働きかけが必要。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
限られた機会と限られた職員のみの参加にとどまり、全体としては地域イベント等への関りはほぼ持てていない。介護現場の現状として、目の前の方への支援でいっぱいであり、視野を広げていくことは困難になっている。管理者が中心になり機会を設けていくことをしないと、この分野での活動は広がっていかない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
部会や運営推進会議出席を管理者以外の職員にも広げ、連携機会を設ける。特に運営推進会議においては、事業所（部署）としての取り組み説明で役割を持ってもらい、出席者の方にも顔を覚えて頂けるようにして、そこから協力や活動の範囲が広がる一助としたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月14日(19:00~20:00)
7. 運営	メンバー	園田、中嶋、松原、戸田、上田、菊地、新道、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	1人	6人	2人	9人

前回の改善計画	地域との関りづくりが乏しい。地域交流委員会の活動を見直し、地域資源の開拓を通じ自事業所だけの考え方だとらわれずに幅広い視点でのサービス提供に努めていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源の新たな開拓はほとんど行えていない。従前からの資源として運営推進会議参加者や近隣保育園との交流を継続している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	2	6	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	5	4	0	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	4	0	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	5	1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 会議やミーティングの場を通じて、意見を上げる機会を持てている。利用者、家族からの苦情や運営推進会議での意見を参考にサービス見直しを実施できた。地域に必要とされる存在として、地域の清掃に参加したり、事業所での消防訓練に近隣の方が飛び入り参加するなどして、徐々に協力出来ている面がある。また施設前の掲示板に足を止めて見て頂けている。
--------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 事業所のあり方について意見を述べることは出来ていない。地域との関わりという点で、積極的に行うこととはほとんどない。個人的立場で行うのはそもそも難しく、事業所単位での取り組みとしていかなくてはならない。
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
あまり取り組みが進んでいない分野であることを意識し、まずは職員・利用者・家族といった身近な存在から意見聴取が出来る取り組みを行う。職員からは毎月の全体会議以外にも主任、副主任との会議を定例化し意見を聞く機会を増やす。利用者・家族では運営推進会議への出席を依頼して、意見を言える場を設けていく（または、家族会を開催してみる）。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月14日(19:00~20:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	園田、中嶋、松原、戸田、上田、菊地、新道、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	6人	1人	1人	9人

前回の改善計画

現在の動画視聴スタイルの研修を継続するとともに、学んだ内容をしっかり自身や組織内に落としめるよう、視聴後の学習ツールを作成していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

動画視聴による研修は計画通りにほぼ進めており、また簡単な研修レポート様式を作成することで、ただ見るだけでなく、身に付けられるようにしている。動画だけでなく、集合形式の研修もいくつか実施できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	7	0	0	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	4	3	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	2	6	9
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	1	5	2	1	9

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

動画研修は定着させることができていている。短い動画を選ぶことで取り組みがしやすいものとなっている。集合形式では、消防、BCP関連、緊急時対応など法定内容を計画的に行うとともに、事故発生を受けて対処方法を学ぶ内容も臨時にを行い、必要なものを即時的に行うことが出来た。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

研修は職場内がほとんどで、外部研修受講は限られた職員が自発的に見つけて参加するだけに留まっている。研修情報の発信が出来ておらず、職員の受講意欲を高められていないことが原因。地域連絡会は現場レベルではそもそも参加は難しい。勉強会の取り組みが始まっている部会への参加を通じ、徐々に多くの職員が参加できる体制を構築していきたい。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

常勤職員は年に1回以上の外部研修受講を行う。資格取得に必要なものであったり、委員会活動の一環とするものに派遣すると同時に、自主的に受けたい希望があれば内容として適切であれば認めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和7年10月14日(19:00~20:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	園田、中嶋、松原、戸田、上田、菊地、新道、川合、田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	2人	0人	8人

前回の改善計画

事業所内での虐待がないのは当然の上で、家庭内の介護放棄や生活環境が不適切な状態などへの関与を強めていく。地域包括支援センターを中心として関係機関との相談持ちかけも行いながら、より良い環境づくりに繋げていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

家族の介護放棄や、不適切な生活環境への働きかけは、地域包括支援センターとの相談持ちかけまでは行えたが、具体的な動きに入る前に、入院・入所などで不要となったこともあり、結果としてはあまり取り組みが進んだとは言えない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	2	0	0	9
②	虐待は行われていない	8	1	0	0	9
③	プライバシーが守られている	4	4	1	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	1	0	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	5	1	0	8

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

お客様を尊重した対応が全体としてとれており、虐待やプライバシー保護などがしっかりと守られている。訪問サービスなどを通じて感じられた不適切な状態についての共有も小まめに行われている。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

家庭環境の適正化の取り組み(働きかけ)が十分にはいっていない。また独居困難な方の施設入居なども最終的には家族の動きを引き出さないと進められない面があり、施設側の対応としては限界もある(家庭の問題には入り込みにくい面がある)。

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

身寄りのない方の増加などへも対応できるよう、成年後見制度について知識を身に付ける。今までは、独居者で家族も後見人もいない方の利用はお断りしていたが、今後相談があれば前向きに検討できるよう体制を整える。